

北海道開発局
青森県

同時発表

平成27年7月17日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

北極海航路整備に関する衛星 AIS データの活用に関する 共同研究の成果について ～平成26年の北極海の航行実態～

国土交通省国土技術政策総合研究所（国総研）と独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、北海道開発局（北開局）及び青森県は、人工衛星から取得される AIS*データの北極海航路の利用促進ならびにそれに対応した港湾整備への活用可能性を検証する共同研究を平成26年10月から実施してきましたが、その一環として平成26年の北極海ならびにその周辺海域での航行実態等を取りまとめましたのでお知らせします。

*AIS (Automatic Identification System) : 船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航行状態及びその他の安全に関する情報を自動的に VHF 帯電波で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局との間で情報の交換を行うシステム。

ポイント

平成26年の航行実態を分析した結果、これまでに以下のような情報を得ることができました。

- ①北極海ならびにその周辺地域での船舶ごとの詳細な航行実態を把握【別添 図2, 図3】
 - ・貨物船、クルーズ船等を含む全58隻についてトン数、航行時期、ルート等を詳細に把握・図化
 - ・ロシア側だけではなく情報の少ない北極海カナダ側航路での航行実態についても把握
- ②北極海における航行についての概観図を作成【別添 図4, 図5】
 - ・北極海における平成26年の航行について時期毎の隻数や海氷位置との関係等が概観できる図を作成

このような航行実態は、関係者（船社や荷主、海氷や造船の研究者等）の北極海航路に係る取り組みにおいて有益な情報になりえるものと考えられます。今後も航行実態の分析を進め、人工衛星の活用可能性について検証を行う予定です。
(詳細は別紙資料参照)

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所 港湾研究部 安部
〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号
TEL:046-844-5027/ FAX:046-842-9265